

with

市長とジェンダーミーティング

講師 佐藤麻美さん

小嶋美代子さん

講師のご紹介



今回は、フリーアナウンサーの佐藤麻美さんとNPO法人エフ・コレクティブ代表の小嶋さんをお招きし、女性がモチベーションを維持して働く社会について「苦小牧の未来はもっとワクワクできる～女性の視点がひらく可能性～」と題してとても素敵な講演をいただきました。皆さんも2人の話にワクワクしましたよね♪

データで見る女性の職場の現状

講師からたくさんのデータが示され、北海道、苦小牧ともに職場における女性管理職や町内会における女性会長の比率などから、まだまだ男性社会にあり、多くの女性がまだ「生きづらさ」を抱えている現状が報告されました。

データの中に「平均残業時間」の項目があり、この項目を掲載する意図として、女性従業員が増えることで働き方が変わり、結果的に残業時間が減る傾向にあることが説明されました。これまで気付かなかった視点に目からウロコ！

女性が職場にもう一人増えると・・・女性が一人ぼっちではなくなる、考え方に広がり生まれる・・・職場が進化する・・・普通が変わる。そんな未来にワクワクしますね！

出産を経て、職場に復帰した当時、駆け込み寺のような存在の女性管理職のアドバイスに救われました。



組織として一時期ギアを上げるタイミングも必要。それがいずれ自然になる！





グループディスカッション

今回は、誕生日の日付部分で進行役、発表役を決めました！
人前で話すことが苦手という方もいましたが、とても素敵な内容で発表に引き込まれました。
進行役・発表役の皆さんお疲れさまでした。

実践していくこと(グループ発表抜粋)

- ・ 仕事上の経験や取得した防災士の資格等を苦小牧に還元する
- ・ 女性の町内会長増加に向け積極的に取り組む
- ・ 男性でも女性でもWLBを大切にしていこう
- ・ 子育て・介護…いずれみんな通る道…お互いさまで認め合う
- ・ キャリア形成を楽しめる職場をつくる
- ・ リアルでつながることが重要。自分がこれまでに積み上げた縦の経験値が、みんなが集まることで幅が広がり、多様性につながる

元アナウンサー佐藤麻美さんからの
ワンポイントアドバイス

質問するとき

語尾をちょっと上げると
印象が良くなりますよ



気づきを得られやすい伝え方

「こういう話を〇〇さんが言ってたよ。
なるほどなって思ったんだよね～」
みたいな感じで押しつけだけではなく
自分の感想も伝えてみて

アンケート (一部抜粋)

- ・ 理解が進むように機会があるごとに話をする
- ・ 管理職と若年者層とのコミュニケーションを積極的に行う
- ・ 自分の事は自分で出来る、男の子の子育てに取り組む
- ・ これまで通り、自然体の姿を見てもらい、働きやすい職場作りに取り組む
- ・ 『自然体でいる』こと。どんな変化でも楽しめる人になる(構え過ぎない)
- ・ 自分の経験を活かして、どんなに小さくてもいいので、アウトプットしていく機会を増やしていく
- ・ 古い体質や固い頭に抵抗し、柔軟性を追い求め続ける
- ・ 女性が働きやすい時間帯や曜日をもう少し見直せるように取り組む
- ・ 子育て、家事、介護、職業などがジェンダーで区別、差別されることのないようにジェンダー平等に取り組む



市では男女平等参画についてInstagramで配信しています

